



※の資格は、消防職員以外の者でも可

注) 上記従事経験については、受検の前後を問わない

3 予防技術検定実施機関

一般財団法人 消防試験研究センター

4 令和6年度予防技術検定実施日時

令和6年12月1日(日)

5 合格発表

令和7年1月10日(金)

6 令和6年度の予防技術検定の結果

令和6年度予防技術検定の受検者数、合格者数等については、次のとおりです。

| 検定区分 | 受検申請者数 | 受検者数 | 合格者数 | 合格率 |
|--------|--------|-------|-------|-------|
| 防火査察 | 3,822 | 3,630 | 1,852 | 51.0% |
| 消防用設備等 | 1,975 | 1,868 | 1,026 | 54.9% |
| 危険物 | 1,713 | 1,613 | 823 | 51.0% |
| 合計 | 7,510 | 7,111 | 3,701 | 52.0% |

(一般財団法人消防試験研究センターによる。)

7 予防技術検定学習テキスト

予防技術検定の受検促進と合格率の向上を目的に、令和6年度も受検準備に即応した予防技術検定学習テキストとして次の4科目編について編集、作成しました。

更に、予防技術検定受検のみならず、予防技術資格者の資格取得後の予防業務の現場においても活用できるように配慮しています。

【共通科目編】



【防火査察科目編】



【消防用設備等科目編】



【危険物科目編】



8 準備講習会の開催状況

当センターが開催した、令和6年度の準備講習会の開催状況は次のとおりです。

| | ブロック名 | 開催場所 | 科目/参加人員(人) | | | |
|---|-------|---------------------------------|------------|--------|-----|-----|
| | | | 防火査察 | 消防用設備等 | 危険物 | 計 |
| 1 | 北海道 | 札幌市(2回) | 38 | 20 | | 58 |
| 2 | 東北 | 仙台市(2回) | 22 | | 24 | 46 |
| 3 | 関東 | 前橋市、さいたま市 東京都北区 東京都港区(2回) | 152 | 33 | 37 | 222 |

| | | | | | | |
|---|-----|------------------|-----|-----|-----|-----|
| | | 横浜市 | | | | |
| 4 | 東海 | 名古屋市(2回) 四日市市 | 71 | 25 | | 96 |
| 5 | 東近畿 | 京都市(2回) | 26 | 15 | | 41 |
| 6 | 近畿 | 大阪市(3回)、神戸市 | 64 | 43 | 58 | 165 |
| 7 | 中国 | 広島市(2回) | 13 | 7 | | 20 |
| 8 | 四国 | | | | | |
| 9 | 九州 | 福岡市(2回) | | 13 | 15 | 28 |
| | 計 | 23箇所 | 386 | 156 | 134 | 676 |

【準備講習会の様子】



9 準備講習会受講者の体験談

岩内・寿都地方消防組合消防本部

受検区分：「防火査察」

氏名 村川 雄 亮

体 験 談

私は、近年の消防用設備等の技術革新や多様化する管理形態を背景に、高度化・専門化する予防業務を適切に行いたいという思いから予防技術資格者を目指し、今回、予防技術検定「防火査察」を受検しました。

受検対策としては、自身初の挑戦ということもあり、学習テキストを熟読し、基本を徹底的に頭に入れ、一般財団法人消防防災科学センター主催の受検準備講習会を受講しました。

受検準備講習会では、講師による要点を絞った解説や出題傾向の分析、合格へ至るプロセスなど大変多くのことを学ばせていただきました。苦手意識のあった分野に関して、対策に苦慮していましたが、講師の的確なアドバイスのおかげもあり、課題を克服することができました。

受講後は、法的根拠を明確に理解するところから始め、試験をイメージし、問題集を時間をかけて正確に解くことを心がけました。また、不正解だった問題の解説を精読することで読解力を養い、学習効果の底上げを図りました。結果、心に余裕を持って試験に臨むことができ、無事合格することができました。

準備講習で学んだことを生かし、準備講習を受講した後に計画性を立てて受検準備ができたことで今回合格できたものと感じております。

今後は、今回の受検で得た専門知識とこれまで培ってきた実務経験を活かし、予防技術資格者として誠実に日々の業務に励みたいと思います。

安来市消防本部

受検区分：「防火査察」

氏名 古澤 佐介

体 験 談

私が、予防技術検定を受検したきっかけは、今年度から署の予防係に異動となり、現在の知識量では足りないと思い予防について学ぶため受検しました。

私は、消防吏員を拝命して4年で経験が浅く予防についても知識があまり無い状態でした。最初は独学をはじめ、問題集などを繰り返し行いましたが、正答率も悪く、自分自身理解を仕切れていない部分が多々ありました。そんな中、上司の方から（一財）消防防災科学センター主催の準備講習の案内があり、講師の方から教わりたいと思い受講させていただきました。受講前には共通科目のオンデマンド配信があり、配信内容を自分の好きなタイミングで見れたり、章ごとに分かれているので不安な部分や気になる部分を何度も見返すことで知識が身につき自信が持てるようになりました。また準備講習を受講したことにより広い範囲から出やすいポイントや間違えやすい問題など予防技術検定で必要なことを教えていただきました。さらに予防技術検定以外でも使える知識など教えていただいたことでより勉強になりました。また、最後の模擬テストで自分の合格点までの現在地がわかり、より勉強のモチベーションが上がり合格点までたどり着くことができました。

予防技術検定で予防の勉強を終わるのではなく、次のステップにいけるように日々精進していき、予防業務に生かしていきたいです。

衣浦東部広域連合消防局

受検区分：「消防用設備等」

氏名 鳥居 景子

体 験 談

「消防用設備等、合格率38.3%」。昨年度の予防技術検定の合格発表日、この数字を見て愕然としました。そして、私はこの検定に合格することが本当にできるのか、という不安に駆られました。

予防係に配属されてはいるものの危険物業務にしか携わったことがなく、合格するためには今までのように練習問題を繰り返し行うだけでは不十分であると感じ、一つ一つ確実に理解できるよう細かい部分も意識して学習を進めていました。しかし、細かい部分まで理解しようとすればするほど学習の進みが悪くなり、日が経つにつれて焦りばかりが募っていきました。

そんな中で、目に留まったのがこの講習会でした。しかし、私の周りには受講したことがある職員がおらず申し込もうかどうか少し迷いがありましたが、その時は藁にもすがらる思いであったため、思いきって申し込みました。実際に受講したところ、出題されやすい部分を中心に解説がされ、講師の経験も交えて話を聞くことができたため、試験対策はもちろんのこと予防業務への理解をより深めることができました。受講後は講師からの説明を参考に、限られた時間でも効率的に学習することができその結果、無事に合格することができました。

受検されるみなさんの配属先や受検する環境は様々であり、厳しい環境の中で試験に臨む方も多くいると思います。そんな中で学習に行き詰っている方には是非この講習会を受講することをお勧めします。私も機会があればまた受講したいと思います。

藤沢市消防局

受検区分：「危険物」

氏名 川 邊 優 太

体 験 談

私が今回「危険物」を受検した動機は、自身の知識向上のためでした。

藤沢市消防局では消防署警備課（消防隊や救助隊等）職員が年間 40 件ほどの立入検査を実施しています。しかし、危険物許可施設については予防課が担当しているため、警備課にいとあまり触れる機会がありません。

そのような中、昨年「防火査察」を受検し、合格した時のやりがいや達成感を得られた経験から、今回もチャレンジの機会と捉え、受検を決めました。

準備講習会については、昨年「防火査察」受検時にも参加し、非常に有意義な講習であったため、今回も参加させていただきました。講習受講前から勉強は始めていましたが、正直行き詰まっている感じがありました。しかし、講習会で基礎から丁寧に教えていただいたことで、徐々に問題を解く力が身についていきました。講習会で学んだことを家へ持ち帰り、そこからは問題を解いて六法やテキストを繰り返し熟読し、合格へ向けて努力しました。その甲斐もあり、無事合格することができました。

予防技術検定は予防業務専任の人でないと、スタート時は馴染みのないワードが多く苦勞するかも知れません。しかし、こうした準備講習会という受検支援事業が行われているため、受検を考えている方は積極的に参加することをお勧めします。

私自身、今回の合格に満足することなく、引続き知識の向上に努めていきたいと思っています。

10 おわりに

予防行政の中枢を担う予防技術資格者の確保及び資質の向上は今後も重要な課題であることから、当センターでは消防庁の指導の下、全国消防長会、各消防本部と連携しご協力を得て、引き続き資格取得の支援を行ってまいりますので、今後とも当センターに対するご支援、ご協力をお願い致します。

